

2019年7月理事会議事録

日 時：2019年7月27日（土）14：00～18：00

場 所：日本考古学協会事務所

出 席：谷川章雄・近藤英夫・植田 真・小澤正人・河村好光・菊池誠一・佐古和枝・佐々木和博・佐々木憲一・杉井 健・関根達人・滝沢 誠・谷畑美帆・都築恵美子・中嶋郁夫・萩野谷 悟・松崎元樹・馬淵和雄・高麗 正、監事：唐澤至朗・橋本裕行、（事務局：林 純子・出口まどか）

欠 席：矢島國雄・大島直行・小笠原永隆・堀内秀樹・宮里 修

進 行：都築恵美子

議 長：谷川章雄

都築理事から、本日の出席者は21名で過半数に達しており、本理事会が成立することが報告され、議事に入った。

会員の訃報について

都築理事から、神奈川県の坂口滋皓会員が2019年3月26日、山口県の中村知博会員が5月3日、京都府の近澤豊明会員が6月14日、奈良県の菅谷文則会員が6月18日、長野県の大久保知巳会員が7月8日、東京都の細谷 葵会員が7月11日、岐阜県の齋藤基生会員が7月14日に亡くなられたとの報告があり、哀悼の意を表した。

議案第535号 退会会員の承認について

植田理事から、群馬県の*会員、大阪府の*会員から2018年度をもつての退会届、宮城県の*会員・*会員、福島県の*会員、千葉県の*会員、神奈川県の*会員・*会員、長野県の*会員、大阪府の*会員、兵庫県の*会員、愛媛県の*会員からは2019年度をもつての退会届が提出されている旨の報告があり、退会を承認した。また、未納会費のある会員から提出された退会届けについては、未納額を納入してからの退会承認とすることとし、未納額の納入を求める。

議案第536号 遺物の分析試料の不正採取に関わる声明について

関根理事から、先月以来報道されている、当会会員である岩手県立博物館の学芸員が委託者の了解を得ずに金属製文化財の一部を切り取っていた問題について、経緯の説明があった。続けて谷川会長から、この問題を受けて「遺物の分析試料の不正採取に関わる声明」の発出提案があり、案文が提示された。審議の結果、原案通り声明文を発表することで承認された。また、発表にあたっては、関係機関に送付するとともに、報道機関へ情報提供することとし、報道対応は会長が当たることとなった。

議案第537号 理事選挙日程・選挙管理委員の承認について

佐々木和博理事から、2020年理事選挙の日程、並びに選挙管理委員候補者案16名の提示があり、原案通り承認された。

議案第538号 入会資格審査日程・入会資格審査委員の承認について

植田理事から、2020年度新入会員（正会員・賛助会員）の入会資格審査日程、並びに入会資格審査委員候補者案16名の提示があり、原案通り承認された。

議案第539号 会員年会費の納入状況と課題

都築理事から、総会受付での会費納入の取扱いを今年度から停止した影響で、6月時点で前年度に比べて約200万円ほど会費納入が少ないことが説明された。8月会報に納入を促すちらしを入れる等の対応をするとともに、例年は年度末に行っている会費滞納会員への督促について、今年は早いうちから行いたいとして各理事に協力が求められ、また会費前納制の周知を徹底することを共有した。

議案第540号 アイヌR T 2019年度シンポジウムと研究倫理指針について(2)

関根理事から、3月理事会で検討した「アイヌ民族に関する研究倫理指針（案）」について、アイヌラウンドテーブル（以下、アイヌR T）において各学協会の意見を反映した改訂案が提示され、内容が説明された。協議の結果、各理事からの意見については、担当理事が集約の上、アイヌR Tに報告することとし、引き続き各理事に次回アイヌR Tまでの意見が求められた。

続けて、現在のアイヌR Tの担当理事2名の任期は今期までであるが、アイヌR Tがまだ続くことやアイヌ以外の各地における研究倫理の問題、また将来的に研究倫理審査委員会の発足も検討されていることから、政策決定や継続性の対応として、理事・専門分野の研究者からなる小委員会設置の提案があり、審議の結果、設置が承認され、今年度は立ち上げの準備を進めることとなった。

議案第541号 高松塚古墳壁画修理作業室の専門家特別公開の参加登録表の提出について

滝沢理事から、文化庁より第4回の高松塚古墳壁画修理作業室の専門家に対する特別公開が実施される旨の連絡があったとの説明があり、佐古理事・中嶋理事の2名を参加登録することで承認された。

議案第542号 賛助会員（学生会員）の資格喪失の措置について

植田理事から、2018年度末をもって学生会員3名が卒業や満28歳の年齢制限により会員資格を喪失したとの報告があり、現規定では、学生会員から直接には正会員になれないことから、今後対応を検討していくこととなった。

議案第543号 百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録決定に関する見解（案）について

滝沢理事から、イコモスからの百舌鳥・古市古墳群の世界遺産一覧表への記載勧告を受け、陵墓関係16学協会では「百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録決定に関する見解」の表明を検討して案文を作成し、各学協会に表明への参加審議が求められたとの説明があった。本件については、百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録決定から期間を空けずに表明する必要があったことから、メールで審議を行い、審議の結果、案文については一部修正

意見が提出され、見解表明に連記することで承認された。陵墓関係16学協会の他学会との調整の結果、本会からの意見も参考に趣旨は変えずに加筆・修正の上、成案としたとの報告があり、併せて承認された。

報告第738号 百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録決定に関する見解表明について

滝沢理事から、7月23日（火）に大阪で、7団体7名が出席して「百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録決定に関する見解」の記者発表を行い、主に関西方面で報道されたことが報告された。また、昨年9月28日付の「百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産推薦に関する見解」を送付した関係機関に、今回発表の見解についても送付する予定であるとの説明があり、了承された。

報告第739号 JJAに関わる2019年度科研費補助金の交付決定通知について

佐々木憲一理事から、6月21日付で本年度の科学研究費補助金の交付決定の通知があったことが報告され、了承された。

報告第740号 70周年記念講演会事業（岩宿・モヨロ）の計画について

高麗常務理事から、①11月24日（日）開催の岩宿博物館と共催で行う講演会について、7月17日に矢島副会長と岩宿博物館へ赴き、プログラムや岩宿大学公開講座として笠懸公民館で行うことを調整した。②10月20日（日）開催の講演会についても、プログラム及び、網走市教育委員会と共催でオホーツク・文化交流センターで行うこととなったとの説明があり、了承された。

報告第741号 2019年度岡山大会の概要について

中嶋理事から、2019年度岡山大会の日程及び内容説明があり、理事の出欠が確認された。

報告第742号 第86回（2020年度）総会における研究発表の概要について

1 研究発表の募集について

滝沢理事から、第86回総会における研究発表の募集要項について前年度からの主な変更点として、①発表時のプレゼンデータについて、第86回総会では今年度の第85回総会と同じようにノートパソコンの当日持ち込みを受け付けることとしたため、デジタルデータ提出の記載を変更した。②発表条件に、2018年度9月理事会・議案第493号で運用基準として定めた申込み時に未納会費がない旨を明記したとの説明があり、了承された。

2 高校生ポスターセッションの募集について

河村理事から、第86回総会で行われる高校生ポスターセッションの募集要項について、これまでの経験から、①申し込み内容について、考古学や関連諸分野に関する取り組みで、未発表の内容を含むものに限定する。②教諭や学芸員等と連名での発表申し込み可の記載を削除し、今後は発表者は高校生のみとする。③表彰について、現在「最優秀賞」「優秀賞」である賞の名称等について、今後の課題として検討するため、募集要項には明記しないことが説明され、了承された。

報告第743号 2020年度金沢大会の全体計画・進捗状況について

河村理事から、2020年度大会は金沢大学角間キャンパスで、2020年10月3日（土）～5日（月）の日程で実施することが説明され、了承された。

報告第744号 史蹟名勝天然記念物保存法100周年事業に関わる協会の後援について

矢島副会長欠席のため近藤副会長から、日本遺跡学会が主催で進めている史蹟名勝天然記念物保存法100周年講演会については、当会も後援としての協力が求められており、他に日本文化財科学会・国立文化財機構・文化庁等からの後援が予定されているとの説明があり、了承された。

報告第745号 各委員会等における事業・会議報告と今後の計画（その1）

1 国際交流委員会報告

菊池理事から、7月6日（土）に2019年度第1回委員会を開催し、①協会英文ホームページに掲載する英文コンテンツについて、「発掘された日本列島2019」展より掲載する遺跡を選択、決定した。なお、過去の英文コンテンツのデータが、日本語公式サイト「国際交流」にあることから、英語版ホームページに移動することが必要である。②国際学術交流の推進について今後の活動を協議した。③今年度の「第13回アジア考古学四学会合同講演会」は「アジアの祈り；神殿・寺・教会」（仮）をテーマに、2020年1月11日（土）に早稲田大学において開催予定であるとの報告があり、了承された。なお、②については、監査時の監事指摘を受けて協議されたものの、まだ乖離があることから、会長等との意見交換の場を設けることとなった。

2 埋蔵文化財保護対策委員会報告

松崎理事から、①第85回総会前日の5月17日（金）に全体の委員会を開催し、2018年度の活動報告及び2019年度の活動計画を協議し、併せて各地域連絡会からの状況報告が行われた。②6月15日（土）に6月幹事会を、7月20日（土）に7月幹事会を開催し、i）長崎市長崎県庁跡地について、6月17日に長崎県学芸文化課との面談を行い、対応を協議した。ii）鴨川市・南房総市嶺岡牧遺跡の対応について、市長との面談を調整中である。iii）委員会の記録のアーカイブ化について、研修を行い、具体的な対応を協議しているとの報告があり、了承された。

3 平成28年熊本地震対策特別委員会報告

杉井理事から、5月19日（日）の第85回総会におけるセッション終了後に2019年度第1回委員会を開催し、今年度の活動計画として、12月21日（土）に熊本県益城町のミナテラスで、特別委員会主催で「平成28年熊本地震復興に係わる文化財・埋蔵文化財調査の成果報告会」を開催することとし、プログラム等を検討したとの報告があり、了承された。

4 災害対応委員会報告

杉井理事から、①5月29日（水）に菊地芳朗委員と第10回文化遺産防災ネットワーク推

進会議へ参加し、推進会議活動ガイドラインの策定において、不動産の文化財や地方行政機関との連携について意見を提出したことが報告された。②2019年6月18日に発生した山形県沖の地震、及び7月上旬の梅雨前線による九州南部での大雨による文化財被害について情報が提示され、了承された。

5 研究環境検討委員会報告

馬淵理事から、第85回総会時の5月18日（土）に2019年度第1回委員会を開催し、文化庁担当者と意見交換を行った。また、7月14日（日）に第2回委員会を開催し、第85回総会ポスターセッションで行ったアンケート結果の分析を行い、後継者育成について危機意識を持っている参加者が多いことが把握され、大学教育と行政の連携について協議した。②検討中の提言について内容と提出先を検討したとの説明があり、了承された。

6 社会科・歴史教科書等検討委員会報告

佐々木和博理事から、7月13日（日）に委員会を開催し、①委員会のあり方について検討した。②2020年度小学校歴史教科書について、小学校歴史教科書採択に関わる展示会で3社の記載内容を実見した委員からの報告を基に検討し、課題を整理した。③協会ホームページ「考古学と教育」を、実際の教育に役立てられるようなコンテンツの掲載を行い充実させることを協議した。④2020年度岡山大会でのポスターセッションの内容を検討したとの報告があり、了承された。

7 将来構想検討小委員会報告

近藤副会長から、7月14日（日）に小委員会を開催し、①会費の納入率が前年度より減少していることから、対応を協議した。②総会・大会の参加費について意見交換を行い、総会時のセッションに参加費を求めること等も視野に入れて検討していく。③会員情報の取扱いについて、新規会員名簿を作成する場合の掲載範囲や情報管理の在り方を協議した。④講師謝金について、現行の申し合わせを見直し、財務担当理事を中心に新たに作成するとの説明があり、了承された。

8 陵墓報告

滝沢理事から、①7月5日（金）に宮内庁との陵墓懇談を行い、15学協会20名が参加した。②懇談に先立ち、明治大学博物館教室において全体会議を行い、今年度の運営委員会の役割分担、及び本年度の陵墓保全整備工事、陵墓公開運動40周年記念のシンポジウム、百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産決定に関する見解表明等について協議したとの説明があり、了承された。

報告第746号 2019年度賛助会員対象の事業について

滝沢理事から、今年度の賛助会員を対象とした事業として、協会寄贈図書が収蔵されている奈良大学図書館の見学や東京大学考古学研究室の見学を計画しているとの説明があり、了承された。

報告第747号 文星堂寄贈の縄文土器の引渡と保管について

高麗常務理事から、文星堂から「日本考古学協会会員・西宮一男」と記載のある縄文土器寄贈の連絡があり、矢島副会長と現状確認を行った。土器や西宮氏のフィールドから茨城県で採集された可能性が高いことから、茨城県庁に譲渡したとの報告があり、了承した。

報告第748号 事業等に関わる後援（名義使用）の了承について

高麗常務理事から、①日本海洋政策学会から公開シンポジウム「水中文化遺産へのアプローチ」について、②九州国立博物館（福岡県立アジア文化交流センター）から「全国高等学校歴史学フォーラム2019」についての後援（名義）依頼があり、名義の使用を承認したとの報告があり、了承した。

以 上